場のことを考える 札 幌 文 化 芸 術 劇 場 hitaru ープニングシリーズ主催事業

串田和美さんを、札幌に産まれたばかりの創造型劇 場 hitaru のクリエイティブスタジオにお招きして「演 劇空間はどこにあるの?」といったテーマで劇場にまつ わるお話を伺います。 (聞き手:斎藤 歩)

演劇を行う場所は劇場だけではありません。劇場と 呼ばれている場所や、劇場とは呼ばれていない場所にお いても、世界各地で様々な演劇的挑戦や挑発を続けてい る現役の俳優・演出家の串田さんですが、私にとっての 串田さんは、演劇を劇場という枠から、何としてもはみ 出させようとすることばかり企み続けている「悪童」と いう印象で、とにかく朝から晩までそのことばかり考え 続け、本当に実践し続けている偉人です。実際私も「コ ーカサスの白墨の輪」という大作でご一緒させていただ き、エライ目に逢いました。北海道内各地で緒形拳さん と「ゴドーを待ちながら」を巡演し、網走刑務所では受 刑者を観客席に招いて公演したことも北海道の皆さん にはご記憶に新しいことと思います。

そんな串田さんを、12月に私が「ゴドー」を公演する予定 の札幌に新しく生まれたばっかりの劇場空間にお招きし、串田 さんが今、演劇にとっての空間や場所について何をお考えなの か、是非聞いてみたいと思い、企画しました。

滅多にない機会です。「ゴドー」をご覧になる前に是非! 北海道演劇財団 芸術監督 斎藤 歩

2018年

Ⅰ 0 月 Ⅰ 0 日(水) Ⅰ 9:00~

会場:札幌文化芸術劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

(札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ3階) 礼幌市営地下鉄:東西線·南北線·東豊線「大通」駅31番出口より徒歩2分 ※さっぽろ地下街オーロラタウンから西2丁目地下歩道直結予定

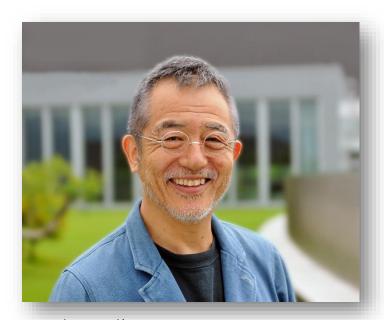
参加料金:¥1,000(要予約・先着順)

★札幌座くらぶ会員の方は¥500(谷町会員は無料) ※道新プレイガイドでのチケットの取り扱いはございません

参加ご希望の方は、お電話かメールでお申し込みください

TEL 011-551-0909 (シアターZOO)

Mail zoo@h-paf.ne.jp



串田 和美 (くしだ かずよし)

1942 年生まれ。俳優、演出家、舞台美術家。 まつもと市民芸術館芸術監督。 芸術館を拠点に活動する TC アルプ座長。

1966年、吉田日出子らとともに劇団自由劇場を結 成(後のオンシアター自由劇場)。『上海バンスキング』 など数々の作品で人気を集める。85年~96年まで東 京渋谷の Bunkamura シアターコクーン初代芸術監督 を務め、コクーン歌舞伎、レパートリー再演システムを立 ち上げる。2003 年 4 月、まつもと市民芸術館館長兼 芸術監督に就任(08 年から芸術監督)。まつもと市民 芸術館での主な作品に『信州・まつもと大歌舞伎』『空 中キャバレー』『K.テンペスト』などがある。劇場を自由 自在に使いこなす演出や地域を巻き込んだ企画など、 "松本ならでは"の事業を次々と実現。

16 年には「Flying Theatre 空中劇場」、17 年「ト ランクシアター」シリーズを始動し、劇場を飛び出しての 上演にも精力的に取り組んでいる。

15 年には代表作のひとつである『スカパン』がルー マニアのシビウ国際演劇祭に正式招聘され、同年にシ ビウ・ウォーク・オブ・フェイム賞を受賞。07 年に第 14 回読売演劇大賞最優秀演出賞受賞。08 年に紫綬褒 章、13年に旭日小綬章を受章。

助成: 文化庁 (平成 30 年度 劇場・音楽堂等機能強化推進事業)